

「国際交流拠点・品川」における高輪築堤等の価値・あり方に関する有識者検討会議（第20回）

## 開催記録

### I 開催概要

日時： 2026（令和8）年3月25日（水曜日）15時45分～16時30分  
場所： JR東日本 現地会議室  
出席者： 以下の通り

表出・欠席者一覧

有識者	・松浦 晃一郎氏（第8代ユネスコ事務局長） ・木曾 功 氏（元ユネスコ日本政府代表部特命全権大使） ・稲葉 信子 氏（国際機関 ICCROM 事務局長特別アドバイザー） ※オンライン 中井 検裕 氏（東京科学大学 名誉教授） ・西村 幸夫 氏（國學院大學 観光まちづくり学部 学部長） ・本保 芳明 氏（国連世界観光機関（UN Tourism）駐日事務所 元代表）	座長 副座長
有識者 オブザーバー	・小野田 滋 氏（公益財団法人鉄道総合技術研究所 アドバイザー） ・老川 慶喜 氏（立教大学名誉教授） 【欠席】古関 潤一 氏（東京大学名誉教授/ライト工業株式会社 R&D センターテクニカルオフィサー） 【欠席】谷川 章雄 氏（早稲田大学 人間科学学術院 名誉教授）	
オブザーバー	・文化庁文化財第二課 史跡部門 ・東京都 教育庁 地域教育支援部 管理課 ・港区教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課 ・港区まちづくり支援部 開発指導課 ・鉄道博物館 学芸部 ・東京都 建設局 道路建設部 鉄道関連事業課	
事業者	・独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部 都心業務部 ・独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部 技術監理部 ・京浜急行電鉄株式会社 執行役員 鉄道本部 建設部 ・京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部 品川開発推進部 ・東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部	
事務局	京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 建設部 東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部・マーケティング本部	
サポート	パンフィックコンサルタンツ株式会社	

#### 当日配布資料：次第

- 資料 1-1 [「5・6街区の高輪築堤跡の文化的価値及び保護措置について(5)」に対する当社の見解について]  
別紙 1 [現地保存の検討対象の「信号機跡を含む5・6街区間」について]  
別紙 2-1~3 [高輪築堤と開発計画の関係（基本図・平面）ほか]  
資料 1-2 [第65回高輪築堤調査・保存等検討委員会開催記録]  
非公開資料 [前回有識者検討会議でのご議論を踏まえた「信号機跡を含む5・6街区間の現地保存」に係る検討・協議状況について]

## II 議事概要

### 1 開会

- 第 20 回「「国際交流拠点・品川」における高輪築堤等の価値・あり方に関する有識者検討会議」（以下、検討会議とする）を開会する。（事務局 JR）

### 2 「高輪築堤の保存・価値・継承のあり方を十分に踏まえたまちづくりについて」のとりまとめに向けた意見交換

#### 1)（情報共有）「高輪築堤の保存・価値・継承のあり方を十分に踏まえたまちづくりについて」のとりまとめに向けた意見交換

- 資料 1-1 を説明する。（事務局 JR）

##### 〔説明概要〕

- ・第 65 回高輪築堤調査・保存等検討委員会（以下、委員会とする）の協議状況について説明する。
  - ・5・6 街区での築堤部 100m 以上の区間の現地保存が難しいとされたことは理解するという見解を頂いた。一方で信号機跡を含む 5・6 街区間の現地保存については再度の検討要望を頂いた。
  - ・これに対して、5・6 街区間での築堤部 100m 以上の区間における現地保存の困難性は理解いただけたと受け止めた。一方、信号機跡を含む 5・6 街区間の現地保存の再度の検討要望については、JR だけでは検討の深度化が困難な状況であるが、要望を真摯に受け止めるとともに、前回の検討会議での意見を踏まえ、当社を含めた関係事業者、関係行政及び有識者による協議体における検討・協議を進めることとなり、これが既に開始されたことと、そこでの検討・協議の結果等は、改めて委員会にて報告する、回答した。
  - ・6 街区南部については、「これまでの調査成果をとりまとめ、築堤部と第 8 橋梁北横仕切堤の関係性を把握するとともに、第 7・8 橋梁横仕切堤における位置づけを明らかにする手続きが必要である。今後は本委員会においてそうした手続きを経て、6 街区南部の遺構の構成要素と開発計画の関係を確認することとしたい。」という見解を頂いた。
  - ・これに対して、東京都教育庁、港区教育委員会から協力を得て調査成果の取りまとめを行った。また、「これまでもご説明させていただいている通り、6 街区南部については費用増を含む計画変更を行い、北横仕切堤を含む 110m の高輪築堤の現地保存を実現している」と回答した。
- 資料 1-2 より第 65 回委員会の意見を紹介する。（事務局 JR）

##### 〔説明概要〕

- ・谷川委員長から、「信号機跡を含む 5・6 街区間の現地保存の再度の検討について、別途協議体で検討を進めるということで、要望を受け入れてもらったことに感謝する」という意見を頂いた。
- ・谷川委員長から、開発計画に係る協議について、「協議の内容についてよくわからないこと。本委員会の設置主旨からしても所掌の外であり、関与しない。ただし、

5・6街区間の遺構の現地保存のために必要な協議であれば開発計画に関する具体的な協議を開始することに異論はなく、「お願いしたい」という意見を頂いた。

- ・古関委員から、「現地保存の検討について、具体的な取り組みが始まったことを評価する。」「計画の変更を含めて全体を俯瞰した具体的な検討を進めてもらうことを期待する」という意見を頂いた。

## 2) (情報共有) 前回有識者検討会議でのご議論を踏まえた「信号機跡を含む5・6街区間の現地保存」に係る検討・協議状況について

- 「前回有識者検討会議でのご議論を踏まえた「信号機跡を含む5・6街区間の現地保存」に係る検討・協議状況」について説明。(※内容非公開) (事務局 JR・中井氏)

### [説明概要]

- 7月中頃までに大枠の合意をまとめてもらい、次回の検討会議は7月下旬に開催したいと考えるが、中井氏としては7月中頃に一定の結論が出るという認識か。(座長)  
← 検討期間は夏頃を目標と考えるが、7月中頃だと基本的な方向の結論までと思われる。細かい内容はもう少し時間がかかる。(中井氏)
- 協議体での検討報告を待ちたい。制度的な解決はそれほど問題ではないが、技術的な解決は説明してもらいたい。(稲葉氏)
- 議論の中身はこれからだろう。(西村氏)
- ディテールを詰め切らないと解決にならないのでしっかりと検討してもらいたい。(本保氏)
- 詰めていく段階で大きな問題が出る可能性もあるので、検討を進め、大丈夫という段階に来た時に検討会議として何らかのまとめを出すという流れがよいだろう。(副座長)
- 高輪築堤が残せる可能性が見出せそうで安堵している。中井氏には大変な役となるがお願いする。(老川氏)
- 道筋ができたと感じる。5・6街区は品川駅へのアプローチとなる場所である。5・6街区に遺構が全く残らない結果は避けられると良い。(小野田氏)
- 協議体に参加し、やれることをやっていきたいと思う。(文化庁)
- 協力していきたいと思う。(東京都)
- 本日のコメントは差し控える。(港区)
- 基盤関係については土地区画整理事業で整備しているので変更など技術的な対応を担う。(UR)
- 協議体として出来る範囲で、可能な限りの検討を進めたい。有識者に個別に助言を頂くこともあるので、協力をお願いする。(中井氏)

## 3 その他

- 特になし。

#### 4 閉会

- 次回第 21 回は本日の議論を踏まえて 7 月下旬の開催を予定する。場所は本日と同じ JR 東日本現地会議室を予定する。詳細は後日連絡する。（事務局 JR）
- 本日は終了する。（事務局 JR）

要旨以上

### III 記録

#### 1 開会

- [事務局 JR] ただいまより、第 20 回検討会議を開会する。
- [事務局 JR] 本日は有識者の中井氏がオンライン参加、有識者オブザーバーの古関氏・谷川氏が欠席となる。
- [事務局 JR] 配布資料の確認を行う。資料の欠損があれば申し出を頂きたい。
- [事務局 JR] 本日の次第を説明する。
- [事務局 JR] ここからは座長に進行をお願いする。

#### 2 「高輪築堤の保存・価値・継承のあり方を十分に踏まえたまちづくりについて」のとりまとめに向けた意見交換

##### 1) (情報共有)「高輪築堤調査・保存等検討委員会」における協議状況

- [事務局 JR] 資料 1-1 を説明する。3 月 11 日に開催された第 65 回委員会に JR から提示した資料になる。2 月の第 64 回委員会における委員見解 2 点に対して回答したものである。委員見解 1 点目は、「5・6 街区での築堤部 100m 以上の区間の現地保存が難しいとされたことは理解できる。一方、5・6 街区間の現地保存については、現時点でその成立性の検証にあたっては、詳細な検討や協議等が必要であり、時間と費用を要するとのことであった。しかしながら、5・6 街区間の現地保存の問題は、すでに 2025 年 4 月の本委員会において古関委員が検討を要望したことである。また、5・6 街区間南端では信号機跡が確認されている。したがって再度本委員会として、信号機跡を含む 5・6 街区間の現地保存を要望する」という内容であるが、これに対し、「5・6 街区間での築堤部 100m 以上の区間における現地保存が困難である点をご理解いただけたものと受け止めさせていただいている。一方、信号機跡を含む 5・6 街区間の現地保存の検討については、これまでもご説明をさせていただいた通り、5・6 街区間は当社の開発計画以外の公共事業も進んでいる中で、JR だけでは検討の深度化が困難な状況である。しかしながら、要望を真摯に受け止めるとともに、前回の検討会議での意見を踏まえ、当社を含めた関係事業者、関係行政及び有識者による協議体における検討・協議を進めることとなり、既に開始されております。なお、協議体における検討・協議の結果等についきましたは、改めて委員会にて報告させていただく」と回答した。2 点目の「6 街区南部については、これまでの調査成果をとりまとめ、築堤部と第 8 橋梁北横仕切堤の関係性を把握するとともに、第 7・8 橋梁横仕切堤における位置づけを明らかにする手続きが必要である。今後は本委員会においてそうした手続きを経て、6 街区南部の遺構の構成要素と開発計画の関係を確認することとしたい。」という委員見解に対しては、東京都教育庁・港区教育委員会のご協力を得て、資料(別紙 2)のとりまとめを行って

る。また、「これまでもご説明させていただいている通り、6街区南部については費用増を含む計画変更を行い、北横仕切堤を含む110mの高輪築堤の現地保存を実現している」と回答した。

資料1-2の第65回委員会の開催記録において議論の状況を確認してもらいたい。4ページの一つ目の「・」に示す通り、谷川委員長から「信号機跡を含む5・6街区間の現地保存の再度の検討について、別途協議体で検討を進めるということで、要望を受け入れてもらったことに感謝する」というコメントを頂いている。また、4ページの二つ目の「・」に示す通り、5・6街区間の現地保存の検討にあたり、開発計画に係る協議について「開発計画に係る協議について、協議の内容についてよくわからないこと。本委員会の設置主旨からしても所掌の外であり、関与しない。ただし、5・6街区間の遺構の現地保存のために必要な協議であれば開発計画に関する具体的な協議を開始することに異論はなく、お願いしたい」というコメントを頂いている。また2025年4月に5・6街区間の現地保存の要望をあげられた古関委員からも「現地保存の検討について、具体的な取り組みが始まったことを評価する。」「計画の変更を含めて全体を俯瞰した具体的な検討を進めてもらうことを期待する」というコメントを頂いている。

[座長] 質問や意見はあるか。

[事務局 JR] 有識者の中井氏がオンラインで出席されたので、信号機跡を含む5・6街区間の現地保存に係る検討・協議状況の説明を進めたいと思うがよろしいか。

[座長] 次の議題の説明を先に進める。

## 2) (情報共有) 前回有識者検討会議でのご議論を踏まえた「信号機跡を含む5・6街区間の現地保存」に係る検討・協議状況について

[事務局 JR・中井氏] 「前回有識者検討会議でのご議論を踏まえた「信号機跡を含む5・6街区間の現地保存」に係る検討・協議状況」について説明。

(※内容非公開)

[座長] 前回の検討会議で中井氏から非常によい提案が出されて、しっかりと進めて頂いている。7月中頃までに大枠の合意をまとめてもらい、次回の検討会議は7月下旬に開催したいと考えるが、中井氏としては7月中頃に一定の結論が出るという認識か。

[中井氏] 検討期間は、夏頃までを目標に考えている。7月中頃くらいだと基本的な方向としての結論が出るかもしれないが、細かい内容はもう少し時間がかかると思われる。

[座長] 本日の出席者に順にコメントを頂きたい。

[稲葉氏] 協議体での検討結果報告を待ちたいと思う。

[西村氏] 議論の中身はこれからだと思う。

[本保氏] 中井氏に進めてもらっていることに感謝する。ディテールを詰め切らないと解決にはならないのでしっかりと検討してもらいたい。

- [副座長] 中井氏の報告で、必ず駄目だということではない、ということにほっとしている。しかし、詰めていく過程で大きな問題が出る可能性もある。検討会議をまとめるタイミングを考えているが、協議体で検討を進めてもらって、大丈夫だという段階まで来た時に検討会議として何らかのまとめを出すという流れがよいだろう。
- [稲葉氏] 制度的な解決はそれほど問題ではないと思っているが、技術的な解決は説明してもらいたい。
- [老川氏] 高輪築堤が残せる可能性が見出せそうで安堵している。中井氏には大変な役となるが、よろしく願いたい。
- [小野田氏] 中井氏によい案を出してもらい、道筋ができたと感じている。5・6街区は品川駅へのアプローチとなる場所であり、4街区、3街区、2街区と続いていく。5・6街区に遺構が全く残らないということは避けられれば良いと思っている。検討が進み、保護が行われればありがたい。
- [文化庁] 協議体に参加させてもらい、やれることをやっていきたいと思っている。
- [東京都] 協力していきたいと思っている。
- [港区] 本日のコメントは差し控える。
- [UR] 基盤関係は土地区画整理事業で整備しているので、変更などの技術的な対応をさせてもらいたい。
- [座長] 最後に中井氏にまとめの意見をもらいたい。
- [中井氏] 出来る範囲となるが、可能な限り協議体として検討を進めたい。有識者に個別に助言を頂くことあるかもしれないので、その際は協力をお願いする。
- [座長] 7月中旬までに大枠の合意をまとめてもらい、その報告を受ける検討会議を7月下旬に開催したい。

### 3 その他

- [座長] その他は何かあるか。
- [座長] なければ閉会とする。

### 4 閉会

- [事務局 JR] 次回の第 21 回検討会議は本日の議論を踏まえて7月下旬を予定する。場所は JR 東日本現地会議室を予定し、詳細は後日連絡する。
- [事務局 JR] 非公開資料はホームページでの公開は行わない。
- [事務局 JR] 本日は終了とする。ありがとうございました。

以 上